

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年10月15日

【四半期会計期間】 第76期第3四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

【会社名】 株式会社ノダ

【英訳名】 NODA CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 野田章三

【本店の所在の場所】 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号

【電話番号】 東京03(5687)6222番 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 辻村 力

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号

【電話番号】 東京03(5687)6222番 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 辻村 力

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第75期 第3四半期 連結累計期間	第76期 第3四半期 連結累計期間	第75期
会計期間	自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日	自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日	自 平成23年12月1日 至 平成24年11月30日
売上高 (千円)	38,248,456	40,951,969	52,836,715
経常利益 (千円)	1,564,201	2,138,070	2,142,203
四半期(当期)純利益 (千円)	1,946,105	1,460,798	3,333,328
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,243,208	2,055,166	3,823,376
純資産額 (千円)	12,026,110	15,529,330	13,606,278
総資産額 (千円)	38,787,152	44,160,516	40,829,360
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	128.91	96.77	220.81
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	28.8	32.6	31.1

回次	第75期 第3四半期 連結会計期間	第76期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	60.38	33.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成24年12月1日～平成25年8月31日）の国内経済は、昨年末の政権交代による景気回復への期待感や、大幅な金融緩和、急激な円安による輸出型企業を中心とした企業業績の回復、株価上昇などもあり、個人消費は概ね堅調に推移いたしました。

住宅需要につきましては、雇用情勢や所得環境に持直しの動きが見られるなか、低水準な住宅ローン金利や政府による各種住宅取得支援策、震災の復興需要及び消費税増税前の駆け込み需要の一部顕在化などもあり、新設住宅着工戸数は堅調に推移いたしました。一方、為替相場の急激な変動に伴うコスト上昇や、職人不足に伴う建築工事の遅れなどマイナス要因もありました。

このような状況のもと、当グループは、安心安全ユニバーサルデザイン（UD）など高齢者対応、子育て支援、環境、リフォーム、住宅の長寿命化、ペット共生等をテーマに提案営業に取組み、引続き床材や建具など主力の建材製品の拡販に努めてまいりました。また、今後の消費税増税による住宅需要の動向を見すえ、コスト管理や在庫管理など各種施策を徹底し、収益力の向上と企業体質の強化に取組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高40,951百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益2,094百万円（前年同期比24.6%増）、経常利益2,138百万円（前年同期比36.7%増）、四半期純利益1,460百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

〔住宅建材事業〕

「UDならノダ」をキャッチフレーズに、足腰への負担や転倒時の危険を軽減する「衝撃吸収フロアネクシオ」などバリアフリー関連商品による事業展開では、全国各地に展開しているケア連携型バリアフリーのショールームや、木造中規模建築物に対応した金物工法「BIG-MJ SYSTEM」等も活用し、一般住宅のほか、サービス付き高齢者住宅、介護施設など非住宅分野への提案営業も推進しシェアの確保に努めました。

さらに、地震や台風など災害に強い住宅建材の普及にも注力しており、引続き、耐震性能や劣化軽減性能に優れた住宅構造材として構造用MDFの拡販をはかりました。これら住宅建材の原材料は、地球環境問題への取組みとして、CO₂削減や貴重な森林資源の有効活用をはかる観点から、MDF（中質繊維板）や国産針葉樹合板など、地球環境に優しいリサイクル素材や国産材の活用に取り組み、環境問題への関心が高い顧客ニーズの掘起こしに努めました。また、本年7月より申請受付が開始された木材利用ポイント制度においては当社製品も登録建築材料として認定・登録され、さらなる国産材活用を推進しています。

こうしたなか、当第3四半期連結累計期間は急激な円安もあり原材料価格が上昇しコストアップ要因となるなか、依然として企業間競争が激しく製品販売価格への転嫁も難しい状況下、堅調に推移する住宅需要も背景に主力の建材製品の販売数量を増やし収益をカバーいたしました。これらの結果、住宅建材事業の売上高は27,734百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は2,154百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

〔合板事業〕

合板事業につきましては、急激な円安もあり輸入南洋材合板の仕入コストが上昇しましたが、堅調に推移する住宅需要を背景に国産針葉樹合板、輸入南洋材合板とも販売数量が増加し、また国内合板相場も堅調に推移いたしました。これらの結果、合板事業の売上高は13,217百万円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益は947百万円（前年同期比30.5%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、27,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,439百万円増加しました。

その主な要因は、現金及び預金の増加871百万円、受取手形及び売掛金の増加163百万円、たな卸資産の増加1,996百万円、繰延税金資産の減少139百万円、その他に含まれる未収入金の減少435百万円などによるものです。

固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、16,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ891百万円増加しました。

その主な要因は、設備投資による有形固定資産の増加100百万円及び無形固定資産の増加208百万円、株式市場の株価が回復したこと等による投資有価証券の増加689百万円、繰延税金資産の減少136百万円などによるものです。

流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、21,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,141百万円増加しました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加2,357百万円、短期借入金の減少974百万円、未払消費税等の減少148百万円、設備投資の増加による設備関係支払手形の増加261百万円などによるものです。

固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,624百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円増加しました。

その主な要因は、社債の増加130百万円、リース債務の増加176百万円などによるものです。

純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、15,529百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,923百万円増加しました。

その主な要因は、四半期純利益による利益剰余金の増加1,460百万円及び配当による利益剰余金の減少132百万円、その他有価証券評価差額金の増加221百万円、為替換算調整勘定の増加160百万円、少数株主持分の増加205百万円などによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は113百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,303,200
計	68,303,200

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,339,200	17,339,200	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	17,339,200	17,339,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年8月31日	-	17,339,200	-	2,141,000	-	1,587,822

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,242,900		(注)1
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,095,700	150,957	(注)2
単元未満株式	普通株式 600		
発行済株式総数	17,339,200		
総株主の議決権		150,957	

(注) 1. 「完全議決権株式(自己株式等)」の欄は、全て当社保有の自己株式であります。

2. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、1,900株(議決権19個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ノダ	東京都台東区浅草橋 5 - 1 3 - 6	2,242,900		2,242,900	12.9
計		2,242,900		2,242,900	12.9

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年12月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,617,752	8,489,157
受取手形及び売掛金	8,507,824	¹ 8,671,546
製品	5,071,328	6,657,205
仕掛品	826,683	938,825
原材料及び貯蔵品	1,605,632	1,904,282
繰延税金資産	580,293	440,554
その他	1,241,076	803,390
貸倒引当金	-	15,000
流動資産合計	25,450,591	27,889,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,978,793	1,943,720
機械装置及び運搬具(純額)	3,056,851	2,988,897
工具、器具及び備品(純額)	155,145	169,433
土地	4,468,941	4,481,177
リース資産(純額)	72,946	104,315
建設仮勘定	56,907	202,979
有形固定資産合計	9,789,586	9,890,524
無形固定資産		
リース資産	9,328	210,817
その他	69,461	76,096
無形固定資産合計	78,789	286,913
投資その他の資産		
投資有価証券	3,567,684	4,256,889
長期貸付金	48,738	34,462
繰延税金資産	1,221,429	1,084,837
その他	674,541	718,927
貸倒引当金	2,000	2,000
投資その他の資産合計	5,510,393	6,093,115
固定資産合計	15,378,769	16,270,553
資産合計	40,829,360	44,160,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,516,701	¹ 9,874,335
短期借入金	9,093,285	8,118,943
1年内償還予定の社債	70,000	-
リース債務	32,563	87,086
未払金	1,310,592	1,286,694
未払法人税等	352,905	237,337
未払消費税等	179,501	31,472
設備関係支払手形	364,153	¹ 625,839
その他	945,465	744,603
流動負債合計	19,865,168	21,006,313
固定負債		
社債	-	130,000
長期借入金	2,152,237	2,144,785
リース債務	53,369	229,711
繰延税金負債	179,164	179,333
退職給付引当金	4,565,806	4,548,650
役員退職慰労引当金	382,020	383,860
資産除去債務	25,316	8,531
固定負債合計	7,357,913	7,624,872
負債合計	27,223,082	28,631,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	10,101,492	11,430,198
自己株式	994,578	994,600
株主資本合計	12,835,736	14,164,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,170	319,173
繰延ヘッジ損益	1,945	8,914
為替換算調整勘定	248,228	87,739
その他の包括利益累計額合計	148,112	240,348
少数株主持分	918,654	1,124,561
純資産合計	13,606,278	15,529,330
負債純資産合計	40,829,360	44,160,516

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	38,248,456	40,951,969
売上原価	28,500,743	30,549,198
売上総利益	9,747,713	10,402,771
販売費及び一般管理費	8,067,032	8,307,950
営業利益	1,680,680	2,094,820
営業外収益		
受取利息	13,691	11,889
受取配当金	28,218	28,017
受取保険金	19,156	12,997
持分法による投資利益	-	101,701
その他	68,721	92,433
営業外収益合計	129,788	247,039
営業外費用		
支払利息	145,345	118,819
売上割引	27,694	28,545
売上債権売却損	49,936	45,699
持分法による投資損失	16,567	-
その他	6,723	10,725
営業外費用合計	246,267	203,789
経常利益	1,564,201	2,138,070
特別利益		
補助金収入	609,739	2,692
特別利益合計	609,739	2,692
特別損失		
固定資産除却損	2,076	2,099
特別損失合計	2,076	2,099
税金等調整前四半期純利益	2,171,864	2,138,662
法人税、住民税及び事業税	27,556	357,967
法人税等調整額	40,567	153,980
法人税等合計	13,011	511,947
少数株主損益調整前四半期純利益	2,184,875	1,626,715
少数株主利益	238,769	165,917
四半期純利益	1,946,105	1,460,798

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,184,875	1,626,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,380	221,183
繰延ヘッジ損益	1,787	6,969
持分法適用会社に対する持分相当額	13,165	200,298
その他の包括利益合計	58,332	428,451
四半期包括利益	2,243,208	2,055,166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,001,877	1,849,259
少数株主に係る四半期包括利益	241,330	205,907

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
受取手形		326,699千円
支払手形		1,208,611
設備支払手形		61,743

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
減価償却費	1,062,959千円	932,259千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月24日 定時株主総会	普通株式	37,740	2.5	平成23年11月30日	平成24年2月27日	利益剰余金
平成24年7月12日 取締役会	普通株式	56,610	3.75	平成24年5月31日	平成24年8月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月27日 定時株主総会	普通株式	56,610	3.75	平成24年11月30日	平成25年2月28日	利益剰余金
平成25年7月11日 取締役会	普通株式	75,481	5.00	平成25年5月31日	平成25年8月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	住宅建材事業	合板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,465,926	11,782,530	38,248,456		38,248,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高		3,246,626	3,246,626	3,246,626	
計	26,465,926	15,029,156	41,495,082	3,246,626	38,248,456
セグメント利益	1,920,857	726,059	2,646,916	966,236	1,680,680

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去22,296千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 988,532千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	住宅建材事業	合板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,734,850	13,217,119	40,951,969		40,951,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高		3,302,873	3,302,873	3,302,873	
計	27,734,850	16,519,992	44,254,842	3,302,873	40,951,969
セグメント利益	2,154,536	947,486	3,102,022	1,007,202	2,094,820

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去7,357千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,014,559千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	128円91銭	1株当たり四半期純利益金額	96円77銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	1,946,105	1,460,798
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,946,105	1,460,798
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(千株)	15,096	15,096

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第76期（平成24年12月1日から平成25年11月30日）中間配当については、平成25年7月11日開催の取締役会において、平成25年5月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	75,481千円
1株当たりの金額	5円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払い開始日	平成25年8月5日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月15日

株式会社ノダ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 若 尾 慎 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 春 山 直 輝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ノダの平成24年12月1日から平成25年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年12月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ノダ及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。